

住みよいまちづくり情報誌

Vol.39

平成27年3月26日

発行 住みよいまちづくり新莊会
(水戸市新莊市民センター内)
(〒310-0036) 水戸市新莊2-11-2
Tel.029-221-7851

責任者 住みよいまちづくり新莊会
会長 川又 一郎

編集 新莊会広報部
印刷 常磐総合印刷株式会社

題字・坂 俊治

新莊学区の常住人口 世帯数 3,080

男 2,942 女 3,253 合計 6,195 (平成27年3月1日現在)

年齢別人口 0～14才 548 (8.8%)

65才以上 1,988 (32.1%)

15～64才 3,659 (59.1%)

(平成27年3月1日現在)



意気の合ったフォークダンス



バザー会場の様子

新莊

ふれあいまつり

今年もバザー大盛況!

三月一日(日)、新莊市民センター最大の行事「新莊ふれあいまつり」が開催され、天候の悪い中延べ七百人の地域の皆様に参加し、交流を深めました。

ホールにおいて利用団体による十六もの発表会が時間通り行われ、小会議室では指圧体験教室、和室では裏千家・石州茶道、市民サロンではバザー、調理室では豚汁販売、駐車場では五つの模擬店の販売が行われました。

特にバザーは今年も大盛況で売上金が社会福祉協議会新莊支部に寄贈され、最後の抽選会も豪華賞が用意され会場が大変盛り上がりしました。



砂久保児童公園の清掃活動に貢献された助川道子さん

◎市民憲章ほう賞
(善行賞)

助川 道子(新莊一丁目)

◎永年勤続自治会長ほう賞

十五年勤続

松枝 誠一(栄町一丁目)

十年勤続

稲川 實(松本町二丁目)

◎退任地区会長ほう賞

奥田 俊亮

二月二十八日(土)、県民文化センター小ホールにおいて開催された水戸市民の集いで次の方々が受賞されました。

第19回 水戸市民の集い
交通安全市民大会開催

新莊ふれあいまつり



石州茶道



新莊会模擬店



フレンズ (楽器演奏と歌唱)



フラオリタヒチ (フラダンス)

ホールでの発表会の出場団体は、写真の八団体のほか、いきいき健康体操、コーラスA、踏愛会(ダンススポーツ)、フォークダンス、童謡クラブ、歌謡②、いきいきヘルス体操はまゆう会(民舞)、和宝会(連吟と仕舞)の八団体です。十六団体のいずれも練度が非常に高く、感動を呼ぶものばかりでした。

特に、フレンズは九曲の楽器演奏をして楽しませていただいたほか、歌謡クラブの部で歌手の金沢はるみ先生に新曲を熱唱していただきました。また、フラオリ・タヒチアンダンスではクライマックスで拍手喝采の一場面もありました。



メネフニ・バカラナ・リノ (フラダンス)



歌謡クラブ①



童謡クラブ



友美会 (民謡)



太極拳クラブ



歌の会クラブ (混声合唱)



高齢者及び子ども・両親の三世代とも熱心に清掃活動に取り組み、園内の隅々まで綺麗にすることが出来ました。

九月二十日(土) 午前、新莊地区高齢者クラブ連合会及び子ども会六十一人が集い、本年度の三世代交流の保和苑清掃を行いました。



新莊小学校防災訓練

十一月五日(水)、新莊小学校児童の防災訓練が、同小学校グラウンドにおいて、市役所地域安全課の指導



炊き出し用の炊飯袋の用意

により実施されました。訓練内容は、地震緊急対処訓練、防災体験実習及び炊き出し実習でした。



炊飯釜でのご飯ボイル

新莊地区福祉講演会 演題「高齢者福祉制度」(老後の安心のために)

一月三十日(金)、水戸市高齢福祉課地域支援センター所長小林秀一郎氏を講師に迎え、高齢者福祉制度について約一時間半にわたり大変わかり易く講演していただきました。
降雪にもかかわらず三十一人が参加し、参加者は来るべき老後の安心に



講師：小林秀一郎氏

備え、熱心に講話を傾聴しておりました。

特に炊き出し体験実習では、新莊会・新莊地区女性の会の支援のもと実施され、女性の会が中心となつて炊飯の全工程を支援し、全児童及び関係者の非常食用ご飯を用意することができました。昼の関係者の試食会では、まずまずの出来上がりで好評でした。

ユニカール大会

UNICURL

三月十五日(日)、新莊市民センターホールにおいて、本年度二回目のユニカール大会が行われました。子供から高齢者まで四十名近くが参加し、参加者は真剣に取り組み、汗を流しました。



11チームによるトーナメント実施

歩く会「常陸太田を歩く」

十一月十六日(日)、晴天の下、歩く会が紅葉の常陸太田で行われました。参加者はウォーキング後の昼食の炊き出しに当たった女性の会を含め九十八名で、歩行距離は約八kmでした。

コースは、山吹運動公園までバス二台で移動し、同公園で準備運動の後、出発。すぐに小高い山林に入り山寺晩鐘で小休憩後、数人ずつのグループで険しい山林を抜け、西山莊桃源で大休止。この後は、二列の隊列を組んで長い登り坂を歩き太田一高前を経



山林「歴史の里」遊歩道での歩行

て醤油工場に到着し、見学・休憩。最後は、若宮八幡宮を抜けて、だいこん坂を下り、ここから再度隊列を整え太田二高前から山吹運動公園まで力一杯行進しました。



山吹運動公園前の最後の行進

今回のウォーキングコースは、険しい山道と急な坂道を歩き厳しい道のりでしたが、お互いに助け合い落伍者もなく、整齊と終えることができました。バスで新莊市民センター到着後は、温かいポリウム満点の昼食を頂き、疲れも吹き飛んだことと思います。

新莊散策

藤澤山神応寺

第二十三代住職 奥山 俊亮

今回は、元山町に所在し別雷皇大神のわきにある神応寺（神應寺）を紹介いたします。神応寺は時宗の寺で、かつては全国時宗の本拠地となった由緒あるお寺です。創建は天正十九年（一五九一）で、開祖は遊行三十二世他阿上人です。



神応寺の本堂

他阿上人は佐竹義宣の一族である小野平（久慈郡）城主小野義高の二男で普光といい、相模（神奈川県藤沢市）にある時宗

総本山の清浄光寺の住職に就いておりました。

しかし、天正

十八年（一五九〇）

小田原城落城とともに、清浄光寺も焼け、各地を流浪しているところ、翌年佐竹義宣に招かれて、水戸の神生平（藤沢小路）に藤沢道場という名称で寺を建立しました。そして、一時ではありましたが、全国時宗の本拠地として、民衆から多くの信仰を集めたといわれています。

慶長年間（一五九六～一六一五）には藤沢市の清浄光寺が再興し、上人は同寺に帰り、その後、藤沢道場は寛永十年（一六三三）二代其阿上人のとき神応寺に改め、延宝八年（二六八〇）に、現在の地に移りました。

雷神（大坂雷神）は藤沢道場建立時に境内に移して鎮守とされ、一緒に現在地に移されており、これが今の別雷皇大神ですが、明治になり神仏分離令により隣で独立しました。別雷皇大神



蹴上げ観音像

は雷神で雨乞いの神様ですが、神応寺には雷除けの蹴上げ観音があるので有名です。

この観音像は、本堂に安置されている本尊の阿弥陀如来三尊の脇室に祀られており、身丈約十三センチで愛らしい微笑を浮かべ、左足を軽く上げた様子は蹴鞠に興じているようです。

伝説では「昔、九州に秋太郎という極道がおり、その家が雷が落ちた。しかし、彼の母親が日頃信仰していた観音様が雷神を蹴り上げてくれ、難を逃れた。母の死後、秋太郎はこの観音を背負い、諸国を安脚し、藤沢道場に立ち寄った際残した」と伝えております。

境内の墓所には、居合術田宮流中興の祖といわれる和田平助正勝や、天狗党の軍学者山国兵部共昌、その実弟の田丸稻之衛門直允家の墓などがあります。

中央ブロック球技大会

十月十九日（日）、晴天の下、本年度の中央ブロック球技大会が開かれ、新莊地区からは五軒小学校運動場で行われたソフトボールのBブロックの部（新莊・五軒・堀原地区各チーム）に新莊地区チーム「緑町ソフトボールクラブ」渡辺幸夫監督以下十七名が出場しました。チーム成績は、一勝一敗で第二位と健闘しました。



新莊小での開会式

ソフトボール試合開始
[新莊地区チーム対五軒地区チーム]

新莊地区敬老会

九月十五日（日）、新莊地区の敬老会が新莊小学校体育館で行われました。

今年の敬老会は、前年の暴風雨下とは異なり快晴に恵まれ、多数の方に参加していただきました。敬老会の式に続き、催し物も全プログラムが実施され、ゆっくり楽しんでいただいたと思います。

新莊地区における七十五歳以上の現在の人口は千八十一人、地区人口の17.5%で水戸市内でも高い高齢化率となっております。



いきいき健康体操

編集部委員

田口 允彦・中野 昌子
塩井 雅子・川又 健志